

第11回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

- 1 開催日時：令和5年4月11日（火） 午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所：株式会社エフエム真岡 会議室（市役所2階）
- 3 委員出席：審議委員総数5名
出席委員数4名

■出席委員（敬称略）

加藤 敦美（真岡商工会議所 専務理事）
一ノ瀬幸人（真岡市総合政策部秘書広報課 課長補佐兼係長）
篠崎 勝美（株式会社シノザキ楽器 代表取締役）
上澤 宏行（真岡青年会議所 元理事長）

■放送事業者側出席者

加藤 靖（株式会社エフエム真岡 代表取締役）
高橋 尉浩（株式会社エフエム真岡 取締役放送局長）
加門 宏文（株式会社エフエム真岡 取締役）

- 4 審議会会長互選
増山明審議委員の退任にともない、新たに加藤敦美審議委員が就任。併せて会長に出席者全員一致で選出された。
- 5 報告事項
事務局報告として、開局後、約2年4か月経過したが、継続して防災ラジオの販売台数やスマートフォンアプリのダウンロード数は伸長しており、市民にも多いに認識されてきたと実感している。
今後の取り組みとして、コットンウェイ硬式野球倶楽部（社会人野球チーム）やホンダリベルタ（JDリーグ女子ソフトボールチーム）などのスポーツ中継や、いちごフェスタ・花火大会・大業祭などの地元イベントの実況中継を実施していく予定。また、マイチャレンジ（市内中学校生徒による職場体験）受入れなど、地元に着目した活動を行っていくことを報告。
- 6 審議内容
 - ① 審議番組『いつでも どこでも もおかの874（ハナシ）』
放送時間 令和5年3月8日（水）12：00～12：45
 - ・パーソナリティ 松本 尚子（まつもと ひさこ）
 - ・出演者 移住定住コーディネーター 檜澤 しのぶ（ひざわ しのぶ） さん
まちづくりコーディネーター 渡辺 真子（わたなべ まこ） さん

(委員) 「私たち(地域おこし協力隊)は、これだけのことをやりました」という報告会のような印象を受けました。もうすでに終わった活動の報告よりも「今後こういう活動の予定をしています、来月にこういうイベントを開催します」といった紹介の方が良いのではないかと思います。あと今後のイベントで既に受付を終わったものに関しても、次の日程を教えて欲しい。「受付は終わってしまったけれども、次もこういうことやります」ということも教えてほしいなあと思います。月1回の放送でしたら、向こう2か月とか3ヶ月ぐらい先のスケジュールを決まっていなくても、大体でいいと思うのですが、いつ頃こんなイベントやるよって言った方が聴いている人も、そのイベントに関心をもってもらえるのではないのでしょうか。また、移住に関して、その相談件数が全国3位(栃木県)とはすごく誇れることだと思います。これは提案ですが、移住してきた人が、こんなところが良かったっていうことを番組内で話していただくと、よりリアルな発信なるのではないかと思います。

(委員) まず番組の構成的に、オリジナルで作られたと思うオープニングのBGMが、ちょっと古くさいけど、完成度も高く、とても面白いなと感じました。この引き付けるメロディー(ジングル含む)も番組の魅力のひとつなのかなと思いました。ゲスト2人のキャッチボールは普段から上手なので、内容が聞きやすかったです。また、ドッグラン関係の活動で利用者が毎日いるっていうことは、その情報はもう結構定着してきたと思うので、じゃあ今度何をするかっていうことを発信していければ、より良い方向に行くのかなと思います。

(委員) 今回の地域おこし協力隊の3人は、素晴らしい人材で、本当によくやってくれています。話も凄く面白くて。彼女たちも2年目に入ります。協力隊は3年セットになっていまして、他の審議委員さんからも指摘があったように、自分たちが頑張っって何かやっていますっていうよりも、もう2年目なので更なる上のステージに行っていただきたい。ドッグランであれば、その利用者(お客様)を取り上げたり、協力隊であれば本当に移住してきた方を取り上げたりするなど、今後の活躍に期待したいと思います。気になる点としましては、番組の終盤などに曲またはBGMが入るときに、活舌が良い方ばかりでは無いので、音量の調整をした方が、聞きやすいのではないかと感じました。

(事務局) BGMの音量レベルに関しては、スタッフ統一で数値を決めてマニュアル的に

操作していましたが、パーソナリティやゲストの音量等も意識しながら、音量操作し、バランスを取っていくよう指導して参ります。

(委員) 私も3月まで観光協会におりまして、ハロウィンやクリスマスなど各種イベントをやっていました。そういった時には大勢の人が集まってくるので、例えば、地域おこし協力隊が現場に行って、FMのスタジオとリアルタイムで、「こんなことをやっていますよ」という発信があると、聴取者も興味を持つんじゃないかって気がします。その現地にいる人とパーソナリティの方とのやりとりがあったりすると、一般の方が聴いていても楽しいし、また、臨場感・ライブ感も出ると思います。そういう番組作りができるのもっとよくなるのかなっていう感じを受けました。少人数でやっているコミュニティFMなので、いろいろ人手の問題とかクリアすべき点はあると思いますが、検討していただければいいですね。

(事務局) 本年度は報告事項のところでも申し上げましたように、過去2年間を通してコミュニティFMの運営実務をこなすことで、パーソナリティを含めかなり学習できましたので、オペレーションのステップアップを図りながら、各種イベントに積極的に参加し、取材や中継を行ない、リスナーを巻き込みながら地域活性化を図っていきたいと考えております。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、令和5年7月11日(火)、午後1時30分～

場所は、株式会社エフエム真岡会議室(市役所2階)予定

(委員) 審議委員全員に書面にて連絡済

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① FMもおかの放送内で告知(令和5年4月12日)
- ② 当該事項を記載した書面を事務所へ据置
- ③ 自社ホームページに掲載(<https://www.fm-moka874.co.jp/>)